届出受理医療機関名簿の受理番号欄における略称一覧

基本診療料

略称	届出名称
（情報通信）	情報通信機器を用いた診療に係る基準
（機能強化）	機能強化加算
（外来感染）	外来感染対策向上加算
（連携強化）	連携強化加算
（サ強化）	サーベイランス強化加算
（抗薬適）	抗菌薬適正使用体制加算
（外医DX1）	電子的診療情報連携体制整備加算１
（外医DX2）	電子的診療情報連携体制整備加算２
（外医DX3）	電子的診療情報連携体制整備加算３
（歯医DX1）	電子的歯科診療情報連携体制整備加算１
（歯医DX2）	電子的歯科診療情報連携体制整備加算２
（看遠診）	看護師等遠隔診療補助加算
（時間外1）	時間外対応体制加算１
（時間外2）	時間外対応体制加算２
（時間外3）	時間外対応体制加算３
（時間外4）	時間外対応体制加算４
（地包加）	地域包括診療加算
（外デ提）	外来データ提出加算
（歯初診）	初診料（歯科）の注1に掲げる基準
（病初診）	地域歯科診療支援病院歯科初診料
（外安全1）	歯科外来診療医療安全対策加算１
（外安全2）	歯科外来診療医療安全対策加算２
（外感染1）	歯科外来診療感染対策加算１
（外感染2）	歯科外来診療感染対策加算２
（外感染3）	歯科外来診療感染対策加算３
（外感染4）	歯科外来診療感染対策加算４
（歯特連）	歯科診療特別対応連携加算
（歯情報通信）	初診料（歯科）の注16及び再診料（歯科）の注13に掲げる基準
（看情報通信）	情報通信機器を用いた看護業務の効率化に係る基準
（入減免）	継続的に賃上げに係る取組を実施している保険医療機関の基準
（一般入院）	一般病棟入院基本料
（療養入院）	療養病棟入院基本料
（結核入院）	結核病棟入院基本料
（精神入院）	精神病棟入院基本料
（特定入院）	特定機能病院入院基本料
（専門入院）	専門病院入院基本料
（障害入院）	障害者施設等入院基本料
（診入院）	有床診療所入院基本料
（診入帰）	有床診療所入院基本料在宅復帰機能強化加算
（診療養入院）	有床診療所療養病床入院基本料
（診療養入帰）	有床診療所療養病床入院基本料在宅復帰機能強化加算
（急総1）	急性期総合体制加算１
（急総2）	急性期総合体制加算２
（急総3）	急性期総合体制加算３
（急総4）	急性期総合体制加算４
（急総5）	急性期総合体制加算５
（包充実）	包括期充実体制加算
（救急医療）	救急医療管理加算
（超急性期）	超急性期脳卒中加算
（診療録1）	診療録管理体制加算１
（診療録2）	診療録管理体制加算２
（事補1）	医師事務作業補助体制加算１
（事補2）	医師事務作業補助体制加算２
（急性看補）	急性期看護補助体制加算
（看夜配）	看護職員夜間配置加算
（入医DX1）	電子的診療情報連携体制整備加算１

略称	届出名称
（入医DX2）	電子的診療情報連携体制整備加算２
（特施）	特殊疾患入院施設管理加算
（看配）	看護配置加算
（看補）	看護補助加算
（看多協）	看護・多職種協働加算
（療）	療養環境加算
（重）	重症者等療養環境特別加算
（産1）	産科管理加算１
（産2）	産科管理加算２
（療養1）	療養病棟療養環境加算１
（療養2）	療養病棟療養環境加算２
（療養改1）	療養病棟療養環境改善加算１
（療養改2）	療養病棟療養環境改善加算２
（診療養）	診療所療養病床療養環境加算
（診療養改）	診療所療養病床療養環境改善加算
（無菌1）	無菌治療室管理加算１
（無菌2）	無菌治療室管理加算２
（放射治療）	放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）
（放射密封）	放射線治療病室管理加算（密封小線源による場合）
（緩診）	緩和ケア診療加算
（診緩診）	有床診療所緩和ケア診療加算
（小緩診）	小児緩和ケア診療加算
（精応）	精神科応急入院施設管理加算
（精入学）	精神病棟入院時医学管理加算
（精移行）	精神科地域移行実施加算
（精合併加算）	精神科身体合併症管理加算
（精リエ）	精神科リエゾンチーム加算
（依存管理）	依存症入院医療管理加算
（精慢合併）	精神科慢性身体合併症管理加算
（摂食障害）	摂食障害入院医療管理加算
（リハ栄腔1）	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算１
（リハ栄腔2）	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算２
（栄養チ）	栄養サポートチーム加算
（口腔管）	口腔管理連携加算
（医療安全1）	医療安全対策加算１
（医療安全2）	医療安全対策加算２
（感染対策1）	感染対策向上加算１
（感染対策2）	感染対策向上加算２
（感染対策3）	感染対策向上加算３
（患サポ）	患者サポート体制充実加算
（重症初期）	重症患者初期支援充実加算
（報告管理）	報告書管理体制加算
（拘束小）	身体的拘束最小化推進体制加算
（褥瘡ケア）	褥瘡ハイリスク患者ケア加算
（ハイ妊娠）	ハイリスク妊娠管理加算
（ハイ分娩）	ハイリスク分娩管理加算
（地域分娩）	地域連携分娩管理加算
（精救急紹介）	精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
（精救急受入）	精神科救急搬送患者地域連携受入加算
（呼吸チ）	呼吸ケアチーム加算
（術後疼痛）	術後疼痛管理チーム加算
（地薬供1）	地域支援・医薬品供給対応体制加算１
（地薬供2）	地域支援・医薬品供給対応体制加算２
（地薬供3）	地域支援・医薬品供給対応体制加算３
（バ後使）	バイオ後続品使用体制加算
（病棟薬1）	病棟薬剤業務実施加算１
（病棟薬2）	病棟薬剤業務実施加算２
（病棟薬3）	病棟薬剤業務実施加算３

略称	届出名称
（薬向上）	薬剤業務向上加算
（データ提）	データ提出加算
（入退支）	入退院支援加算
（精入退支）	精神科入退院支援加算
（医ケア支）	医療的ケア児（者）入院前支援加算
（認ケア）	認知症ケア加算
（せん妄ケア）	せん妄ハイリスク患者ケア加算
（精疾診）	精神疾患診療体制加算
（精急医配）	精神科急性期医師配置加算
（排自支）	排尿自立支援加算
（地医確保1）	地域医療体制確保加算1
（地医確保2）	地域医療体制確保加算2
（医提連）	医療提供機能連携確保加算
（協力施設）	協力対象施設入所者入院加算
（精地密1）	精神科地域密着多機能体制加算1
（精地密2）	精神科地域密着多機能体制加算2
（精地密3）	精神科地域密着多機能体制加算3
（地歯入院）	地域歯科診療支援病院入院加算
（救命1）	救命救急入院料1（令和8年6月1日以降に新たに算定する場合）
（救1）	救命救急入院料1（上記以外の場合）
（救命2）	救命救急入院料2（令和8年6月1日以降に新たに算定する場合）
（救2）	救命救急入院料2（上記以外の場合）
（集中1）	特定集中治療室管理料1（令和8年6月1日以降に新たに算定する場合又は引き続き算定するとして届け出直す場合）
（集1）	特定集中治療室管理料1（上記以外の場合）
（集中2）	特定集中治療室管理料2（令和8年6月1日以降に新たに算定する場合又は引き続き算定するとして届け出直す場合）
（集2）	特定集中治療室管理料2（上記以外の場合）
（集中3）	特定集中治療室管理料3（令和8年6月1日以降に新たに算定する場合又は引き続き算定するとして届け出直す場合）
（集3）	特定集中治療室管理料3（上記以外の場合）
（ハイケア1）	ハイケアユニット入院医療管理料1
（ハイケア2）	ハイケアユニット入院医療管理料2
（ハイケア注）	ハイケアユニット入院医療管理料の注5
（脳卒中ケア）	脳卒中ケアユニット入院医療管理料
（小集）	小児特定集中治療室管理料
（新1）	新生児特定集中治療室管理料1
（新2）	新生児特定集中治療室管理料2
（新重）	新生児特定集中治療室重症児対応体制強化管理料
（周）	総合周産期特定集中治療室管理料
（新回復）	新生児治療回復室入院医療管理料
（一類）	一類感染症患者入院医療管理料
（特入）	特殊疾患入院医療管理料
（小入1）	小児入院医療管理料1
（小入2）	小児入院医療管理料2
（小入3）	小児入院医療管理料3
（小入4）	小児入院医療管理料4
（小入5）	小児入院医療管理料5
（地包医1）	地域包括医療病棟入院料1
（地包医2）	地域包括医療病棟入院料2
（回1）	回復期リハビリテーション病棟入院料1
（回2）	回復期リハビリテーション病棟入院料2
（回3）	回復期リハビリテーション病棟入院料3
（回4）	回復期リハビリテーション病棟入院料4
（回5）	回復期リハビリテーション病棟入院料5
（回管）	回復期リハビリテーション入院医療管理料
（地包ケア1）	地域包括ケア病棟入院料1及び地域包括ケア入院医療管理料1
（地包ケア2）	地域包括ケア病棟入院料2及び地域包括ケア入院医療管理料2

略称	届出名称
（地包ケア3）	地域包括ケア病棟入院料3及び地域包括ケア入院医療管理料3
（地包ケア4）	地域包括ケア病棟入院料4及び地域包括ケア入院医療管理料4
（特疾1）	特殊疾患病棟入院料1
（特疾2）	特殊疾患病棟入院料2
（緩1）	緩和ケア病棟入院料1
（緩2）	緩和ケア病棟入院料2
（精救）	精神科救急急性期医療入院料
（精急1）	精神科急性期治療病棟入院料1
（精急2）	精神科急性期治療病棟入院料2
（精合併）	精神科救急・合併症入院料
（児春入）	児童・思春期精神科入院医療管理料
（精療）	精神療養病棟入院料
（認治1）	認知症治療病棟入院料1
（認治2）	認知症治療病棟入院料2
（特般1）	特定一般病棟入院料1
（特般2）	特定一般病棟入院料2
（移機強）	地域移行機能強化病棟入院料
（特定リハ）	特定機能病院リハビリテーション病棟入院料
（短手1）	短期滞在手術等基本料1
（入手）	入院手術対応加算

特掲診療料

略称	届出名称
（遠電）	遠隔電子処方箋活用加算
（ウ指）	ウイルス疾患指導料
（外栄食指）	外来栄養食事指導料の注2に規定する基準
（がん専栄）	外来栄養食事指導料の注3に規定する基準
（遠隔ペ）	心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算
（喘管）	喘息治療管理料
（糖管）	糖尿病合併症管理料
（がん疼）	がん性疼痛緩和指導管理料
（難がん疼）	がん性疼痛緩和指導管理料の注2に規定する難治性がん性疼痛緩和指導管理加算
（がん指イ）	がん患者指導管理料イ
（がん指ロ）	がん患者指導管理料ロ
（がん指ハ）	がん患者指導管理料ハ
（がん指ニ）	がん患者指導管理料ニ
（外緩）	外来緩和ケア管理料
（移植管臓）	移植後患者指導管理料（臓器移植後）
（移植管造）	移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）
（糖防管）	糖尿病透析予防指導管理料
（小運指管）	小児運動器疾患指導管理料
（乳腺ケア）	乳腺炎重症化予防ケア・指導料
（婦特管）	婦人科特定疾患治療管理料
（腎代替管）	腎代替療法指導管理料
（一妊管）	一般不妊治療管理料
（生補管1）	生殖補助医療管理料1
（生補管2）	生殖補助医療管理料2
（二骨管1）	二次性骨折予防継続管理料1
（二骨継2）	二次性骨折予防継続管理料2
（二骨継3）	二次性骨折予防継続管理料3
（下創管）	下肢創傷処置管理料
（腎防管）	慢性腎臓病透析予防指導管理料
（小夜1）	地域連携小児夜間・休日診療料1
（小夜2）	地域連携小児夜間・休日診療料2
（夜）	地域連携夜間・休日診療料
（トリ体）	地域連携小児夜間・休日診療料の注2、地域連携夜間・休日診療料の注2及び救急外来医学管理料の注7に規定する院内トリアージ実施体制加算
（救外1）	救急外来医学管理料1及び同注3に規定する救急外来緊急検査対応加算1

略称	届出名称
（救外2）	救急外来医学管理料2及び同注3に規定する救急外来緊急検査対応加算2
（救外3）	救急外来医学管理料3
（救医情）	救急外来医学管理料の注5に規定する救急時医療情報取得加算
（放射診）	外来放射線照射診療料
（地包診）	地域包括診療料
（外データ提）	地域包括診療料の注4に規定する外来データ提出加算
（小か診1）	小児かかりつけ診療料1
（小か診2）	小児かかりつけ診療料2
（外化診1）	外来腫瘍化学療法診療料1
（外化診2）	外来腫瘍化学療法診療料2
（外化診3）	外来腫瘍化学療法診療料3
（外化連）	連携充実加算
（外化薬）	外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算
（充管脂1）	充実管理加算1（脂質異常症を主病とする場合）
（充管脂2）	充実管理加算2（脂質異常症を主病とする場合）
（充管脂3）	充実管理加算3（脂質異常症を主病とする場合）
（充管高1）	充実管理加算1（高血圧症を主病とする場合）
（充管高2）	充実管理加算2（高血圧症を主病とする場合）
（充管高3）	充実管理加算3（高血圧症を主病とする場合）
（充管糖1）	充実管理加算1（糖尿病を主病とする場合）
（充管糖2）	充実管理加算2（糖尿病を主病とする場合）
（充管糖3）	充実管理加算3（糖尿病を主病とする場合）
（ニコ）	ニコチン依存症管理料
（両立支援）	療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
（心再予1）	心不全再入院予防継続管理料1及び2
（心再予3）	心不全再入院予防継続管理料3
（遺疾管1）	遺伝性疾患療養指導管理料の注1から注3までに規定する施設基準
（遺疾管5）	遺伝性疾患療養指導管理料の注5に規定する施設基準
（開）	開放型病院共同指導料
（支援診1）	別添1の「第9」の1の(1)に規定する在宅療養支援診療所
（支援診2ア）	別添1の「第9」の1の(2)のアに規定する在宅療養支援診療所
（支援診2イ）	別添1の「第9」の1の(2)のイに規定する在宅療養支援診療所
（支援診3）	別添1の「第9」の1の(3)に規定する在宅療養支援診療所
（在充診）	別添1の「第9」の2の(3)に規定する在宅医療充実体制加算
（在診実1）	別添1の「第9」の2の(4)に規定する在宅療養実績加算1
（在診実2）	別添1の「第9」の2の(5)に規定する在宅療養実績加算2
（ハイⅠ）	ハイリスク妊産婦共同管理料（Ⅰ）
（がん計）	がん治療連携計画策定料
（がん指）	がん治療連携指導料
（外排自）	外来排尿自立指導料
（ハイ妊連1）	ハイリスク妊産婦連携指導料1
（ハイ妊連2）	ハイリスク妊産婦連携指導料2
（肝炎）	肝炎インターフェロン治療計画料
（こ連指Ⅰ）	こころの連携指導料（Ⅰ）
（こ連指Ⅱ）	こころの連携指導料（Ⅱ）
（プログラム）	プログラム医療機器等指導管理料
（薬）	薬剤管理指導料
（地連計）	地域連携診療計画加算
（電情）	検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料
（機安1）	医療機器安全管理料1
（機安2）	医療機器安全管理料2
（機安歯）	医療機器安全管理料（歯科）
（精退共）	精神科退院時共同指導料1及び2
（医管）	歯科治療時医療管理料
（口管強）	小児口腔機能管理料の注5に規定する口腔管理体制強化加算
（特管）	特別管理加算
（口実地）	口腔機能実地指導料
（歯援診1）	在宅療養支援歯科診療所1

略称	届出名称
（歯援診2）	在宅療養支援歯科診療所2
（歯援病）	在宅療養支援歯科病院
（支援病1）	別添1の「第14の2」の1の(1)に規定する在宅療養支援病院
（支援病2）	別添1の「第14の2」の1の(2)に規定する在宅療養支援病院
（支援病3）	別添1の「第14の2」の1の(3)に規定する在宅療養支援病院
（在充病）	別添1の「第14の2」の2の(2)に規定する在宅医療充実体制加算
（在病実1）	別添1の「第14の2」の2の(3)に規定する在宅療養実績加算1
（在病実2）	別添1の「第14の2」の2の(4)に規定する在宅療養実績加算2
（在歯管）	在宅患者歯科治療時医療管理料
（介保連）	往診料の注10に規定する介護保険施設等連携往診加算
（在宅DX）	在宅患者訪問診療料（Ⅰ）の注13（在宅患者訪問診療料（Ⅱ）の注6の規定により準用する場合を含む。）、在宅がん医療総合診療料の注8及び歯科訪問診療料の注21に規定する在宅医療DX情報活用加算
（在医総管1）	在宅時医学総合管理料及び施設入居時等医学総合管理料
（在データ提）	在宅データ提出加算
（在医総管2）	在宅時医学総合管理料の注14（施設入居時等医学総合管理料の注5の規定により準用する場合を含む。）に規定する基準
（医情連）	在宅時医学総合管理料の注15（施設入居時等医学総合管理料の注5の規定により準用する場合を含む。）及び在宅がん医療総合診療料の注9に規定する在宅医療情報連携加算
（在医総管3）	在宅時医学総合管理料の注 16（施設入居時等医学総合管理料の注5の規定により準用する場合を含む。）に規定する基準
（歯医情連）	歯科疾患在宅療養管理料の注7、在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の注8及び小児在宅患者訪問口腔リハビリテーション指導管理料の注8に規定する在宅歯科医療情報連携加算
（在総）	在宅がん医療総合診療料
（重患搬）	救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
（救患搬）	救急患者連携搬送料
（在看）	在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
（訪看充）	在宅患者訪問看護・指導料の注15（同一建物居住者訪問看護・指導料の注8の規定により準用する場合を含む。）に規定する訪問看護・指導体制充実加算
（訪看専）	在宅患者訪問看護・指導料の注16（同一建物居住者訪問看護・指導料の注8の規定により準用する場合を含む。）に規定する専門管理加算
（訪看DX）	在宅患者訪問看護・指導料の注17（同一建物居住者訪問看護・指導料の注8の規定により準用する場合を含む。）及び精神科訪問看護・指導料の注18に規定する訪問看護医療DX情報活用加算
（訪看遠隔）	在宅患者訪問看護・指導料の注18（同一建物居住者訪問看護・指導料の注8の規定により準用する場合を含む。）に規定する遠隔死亡診断補助加算
（訪看情連）	在宅患者訪問看護・指導料の注 19（同一建物居住者訪問看護・指導料の注8の規定により準用する場合を含む。）に規定する訪問看護医療情報連携加算
（訪看遠診）	訪問看護遠隔診療補助料
（在後病）	在宅療養後方支援病院
（在訪褥）	在宅患者訪問褥瘡管理指導料
（在腹灌）	在宅自己腹膜灌流指導管理料2
（在血液）	在宅血液透析指導管理料
（遠隔酸素）	在宅酸素療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
（在持充）	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する持続陽圧呼吸療法充実管理体制加算
（遠隔持陽）	在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注3に規定する遠隔モニタリング加算
（在植補心）	在宅植込型補助人工心臓（非拍動流型）指導管理料
（在電場）	在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
（在洗腸）	在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
（持血測1）	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合）及び皮下連続式グルコース測定
（持血測2）	持続血糖測定器加算（間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合）
（歯地連）	地域医療連携体制加算
（歯訪診）	歯科訪問診療料の注16に規定する基準

略称	届出名称
（遺伝検1）	遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
（遺伝検2）	遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
（染色体）	染色体検査の注2に規定する施設基準
（骨残測）	骨髄微小残存病変量測定
（BRCA）	BRCA1／2遺伝子検査
（がんプロ）	がんゲノムプロファイリング検査
（角ジ遺）	角膜ジストロフィー遺伝子検査
（先代異）	先天性代謝異常症検査
（AAV9）	抗アデノ随伴ウイルス9型（AAV9）抗体
（AAVrh74）	抗アデノ随伴ウイルス血清型rh74（AAVrh74）抗体
（抗HLA）	抗HLA抗体（スクリーニング検査）及び抗HLA抗体（抗体特異性同定検査）
（HPV）	HPV核酸検出及びHPV核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）
（ウ細薬多同）	ウイルス・細菌核酸及び薬剤耐性遺伝子多項目同時検出
（ウ細多同）	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
（ウ細髄液）	ウイルス・細菌核酸多項目同時検出（髄液）
（検Ⅰ）	検体検査管理加算（Ⅰ）
（検Ⅱ）	検体検査管理加算（Ⅱ）
（検Ⅲ）	検体検査管理加算（Ⅲ）
（検Ⅳ）	検体検査管理加算（Ⅳ）
（国標）	国際標準検査管理加算
（血内）	心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
（歩行）	時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
（胎心エコ）	胎児心エコー法
（ヘッド）	ヘッドアップティルト試験
（人膵）	人工膵臓検査、人工膵臓療法
（長）	長期継続頭蓋内脳波検査
（脳ビ）	長期脳波ビデオ同時記録検査1
（中磁誘）	中枢神経磁気刺激による誘発筋電図
（単筋電）	単線維筋電図
（光ト）	光トポグラフィー
（脳磁診1）	脳磁図（自発活動を測定するもの）
（脳磁診2）	脳磁図（その他のもの）
（終夜睡安）	終夜睡眠ポリグラフィー（安全精度管理下で行うもの）
（脳判）	脳波検査判断料1
（遠脳）	遠隔脳波診断
（神経）	神経学的検査
（補聴）	補聴器適合検査
（黄網電）	黄斑局所網膜電図
（全網電）	全視野精密網膜電図
（ロー検）	ロービジョン検査判断料
（コン1）	コンタクトレンズ検査料1
（コン2）	コンタクトレンズ検査料2
（コン3）	コンタクトレンズ検査料3
（小検）	小児食物アレルギー負荷検査
（誘発）	内服・点滴誘発試験
（肝生検）	経頸静脈的肝生検
（前立腺）	前立腺針生検法（MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの）
（C気鏡）	CT透視下気管支鏡検査加算
（経気凍）	経気管支凍結生検法
（壁側凍）	壁側胸膜凍結生検法
（咀嚼機能）	有床義歯咀嚼機能検査
（精密触覚）	精密触覚機能検査
（歯筋電図）	睡眠時歯科筋電図検査
（画1）	画像診断管理加算1
（画2）	画像診断管理加算2
（画3）	画像診断管理加算3
（画4）	画像診断管理加算4
（歯画1）	歯科画像診断管理加算1

略称	届出名称
（歯画2）	歯科画像診断管理加算2
（遠画）	遠隔画像診断
（ポ断）	ポジトロン断層撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合又はPSMAイメージング剤を用いた場合を除く。）
（ポ断P）	ポジトロン断層撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）
（ポ断PS）	ポジトロン断層撮影（PSMAイメージング剤を用いた場合に限る。）
（ポ断コ複）	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合又はPSMAイメージング剤を用いた場合を除く。）
（ポ断コ複P）	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）
（ポ断コ複PS）	ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（PSMAイメージング剤を用いた場合に限る。）
（ポ断磁複）	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合又はPSMAイメージング剤を用いた場合を除く。）
（ポ断磁複P）	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。）
（ポ断磁複PS）	ポジトロン断層・磁気共鳴コンピューター断層複合撮影（PSMAイメージング剤を用いた場合に限る。）
（乳ポ断）	乳房用ポジトロン断層撮影
（C・M）	CT撮影及びMRI撮影
（冠動C）	冠動脈CT撮影加算
（血予備断）	血流予備量比コンピューター断層撮影解析
（外傷C）	外傷全身CT加算
（心臓M）	心臓MRI撮影加算
（乳房M）	乳房MRI撮影加算
（小児M）	小児鎮静下MRI撮影加算
（頭部M）	頭部MRI撮影加算
（全身M）	全身MRI撮影加算
（肝エラ）	肝エラストグラフィ加算
（抗悪処方）	抗悪性腫瘍剤処方管理加算
（地外薬供）	地域支援・外来医薬品供給対応体制加算
（外化1）	外来化学療法加算1
（外化2）	外来化学療法加算2
（菌）	無菌製剤処理料
（心Ⅰ）	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)
（リデータ提）	リハビリテーションデータ提出加算
（心Ⅱ）	心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅱ)
（脳Ⅰ）	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)
（脳Ⅱ）	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅱ)
（脳Ⅲ）	脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅲ)
（運Ⅰ）	運動器リハビリテーション料(Ⅰ)
（運Ⅱ）	運動器リハビリテーション料(Ⅱ)
（運Ⅲ）	運動器リハビリテーション料(Ⅲ)
（呼Ⅰ）	呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)
（呼Ⅱ）	呼吸器リハビリテーション料(Ⅱ)
（摂嚥回1）	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算1
（摂嚥回2）	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2
（摂嚥回3）	摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算3
（難）	難病患者リハビリテーション料
（障）	障害児(者)リハビリテーション料
（がんリハ）	がん患者リハビリテーション料
（認リハ）	認知症患者リハビリテーション料
（リン複）	リンパ浮腫複合的治療料
（集コ）	集団コミュニケーション療法料
（歯リハ2）	歯科口腔リハビリテーション料2
（頭磁刺）	経頭蓋磁気刺激療法
（児春専）	通院・在宅精神療法の注4に規定する児童思春期精神科専門管理加算
（療活継）	通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算

略称	届出名称
（心理支援）	通院・在宅精神療法の注9に規定する心理支援加算
（児春支1）	通院・在宅精神療法の注10に規定する児童思春期支援指導加算1
（児春支2）	通院・在宅精神療法の注10に規定する児童思春期支援指導加算2
（早充実1）	通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算1
（早充実2）	通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算2
（早充実3）	通院・在宅精神療法の注11に規定する早期診療体制充実加算3
（情通精）	通院・在宅精神療法の注12に規定する情報通信機器を用いた精神療法の施設基準
（精注 13）	通院・在宅精神療法の注 13 の施設基準
（急精支）	救急患者精神科継続支援料
（認1）	認知療法・認知行動療法1
（認2）	認知療法・認知行動療法2
（認3）	認知療法・認知行動療法3
（依集1）	依存症集団療法1
（依集2）	依存症集団療法2
（依集3）	依存症集団療法3
（精）	精神科作業療法
（ショ大）	精神科ショート・ケア「大規模なもの」
（ショ小）	精神科ショート・ケア「小規模なもの」
（デ大）	精神科デイ・ケア「大規模なもの」
（デ小）	精神科デイ・ケア「小規模なもの」
（ナ）	精神科ナイト・ケア
（デナ）	精神科デイ・ナイト・ケア
（抗治療）	抗精神病特定薬剤治療指導管理料（治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。）
（認デ）	重度認知症患者デイ・ケア料
（精在宅援）	精神科在宅患者支援管理料
（医療保護）	医療保護入院等診療料
（医処休）	医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1
（医処外）	医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1
（医処深）	医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1
（歯処休）	歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の休日加算1
（歯処外）	歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の時間外加算1
（歯処深）	歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の深夜加算1
（静圧）	静脈圧迫処置（慢性静脈不全に対するもの）
（多血）	多血小板血漿処置
（血入）	硬膜外自家血注入
（エタ甲）	エタノールの局所注入（甲状腺）
（エタ副甲）	エタノールの局所注入（副甲状腺）
（人工腎臓）	人工腎臓
（導入1）	導入期加算1
（導入2）	導入期加算2及び腎代替療法実績加算
（導入3）	導入期加算3及び腎代替療法実績加算
（透析水）	透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
（腎診充）	腎代替療法診療体制充実加算
（肢梢）	下肢末梢動脈疾患指導管理加算
（難重尿）	難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法
（移後拒）	移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
（スト合）	ストーマ合併症加算
（磁膀刺）	磁気による膀胱等刺激法
（心遠温）	心不全に対する遠赤外線温熱療法
（腎灌保）	同種死体移植腎機械灌流保存
（歩行ロボ）	歩行運動処置（ロボットスーツによるもの）
（手顕微加）	手術用顕微鏡加算
（口腔粘膜）	口腔粘膜処置
（う蝕無痛）	う蝕歯無痛的窩洞形成加算
（歯技連1）	歯科技工士連携加算1
（歯技連2）	歯科技工士連携加算2
（光印象）	光学印象

略称	届出名称
（歯CAD）	CAD／CAM冠及びCAD／CAMインレー
（3DFD）	3次元プリント有床義歯
（歯技工）	歯科技工加算1及び2
（皮セ節）	皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
（皮膚植）	皮膚移植術（死体）
（自脂注）	自家脂肪注入
（組再乳）	組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合（内視鏡下によるものを含む。）に限る。）
（静奇硬）	静脈奇形硬化療法
（処骨）	四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
（緊整固）	緊急整復固定加算及び緊急挿入加算
（骨悪ラ）	骨悪性腫瘍、類骨骨腫及び四肢軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
（脛遠骨）	脛骨遠位骨切り術
（同種）	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（同種骨移植（非生体）（同種骨移植（特殊なものに限る。））
（自家）	骨移植術（軟骨移植術を含む。）（自家培養軟骨移植術に限る。）
（人肩置）	人工関節置換術（人工肩関節置換術（腱移行を伴うもの）に限る。）
（人関支）	人工股関節置換術（手術支援装置を用いるもの）
（人膝支）	人工膝関節置換術（手術支援装置を用いるもの）
（後縦骨）	後縦靱帯骨化症手術（前方進入によるもの）
（椎酵注）	椎間板内酵素注入療法
（脊椎摘）	腫瘍脊椎骨全摘術
（緊穿除）	緊急穿頭血腫除去術
（機定脳て）	機能的定位脳手術（てんかんの場合）
（脳覚）	脳腫瘍覚醒下マッピング加算
（脳光）	原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
（内脳腫）	内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
（脳回）	脳血栓回収療法連携加算
（頭移）	頭蓋骨形成手術（骨移動を伴うものに限る。）
（脳刺）	脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
（脊刺）	脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
（頭深電）	頭蓋内電極植込術（脳深部電極によるもの（7本以上の電極による場合）に限る。）
（癒脊膜）	癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
（仙神交便）	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便失禁）
（仙神交膀）	仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術（便過活動膀胱）
（舌刺）	舌下神経電気刺激装置植込術
（角結悪）	角結膜悪性腫瘍切除手術
（角膜切）	治療的角膜切除術（エキシマレーザーによるもの（角膜ジストロフィー又は帯状角膜変性に係るものに限る。））
（内移）	角膜移植術（内皮移植加算）
（培角移）	培養ヒト角膜内皮細胞移植術
（羊膜移）	羊膜移植術
（緑内イ）	緑内障手術（緑内障治療用インプラント挿入術（プレートのあるもの））
（緑内眼ド）	緑内障手術（流出路再建術（眼内法）及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術）
（緑内ne）	緑内障手術（濾過胞再建術（needle 法））
（毛光）	毛様体光凝固術（眼内内視鏡を用いるものに限る。）
（経眼注）	経皮的選択的眼動脈注入術
（硝切）	網膜付着組織を含む硝子体切除術（眼内内視鏡を用いるもの）
（網膜再）	網膜再建術
（経内鼓）	経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
（人工中耳）	人工中耳植込術
（植補聴）	植込型骨導補聴器（直接振動型）植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
（耳補挿）	耳管用補綴材挿入術
（内鼻Ｖ腫）	内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ｖ型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。）

略称	届出名称
（咽喉摘鏡）	上咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）、中咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）、下咽頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）、喉頭蓋嚢腫摘出術（鏡視下によるもの）及び喉頭腫瘍摘出術（鏡視下によるもの）
（鏡咽悪）	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）
（鏡咽喉悪）	鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（内筋ボ）	内喉頭筋内注入術（ボツリヌス毒素によるもの）
（鏡喉悪）	鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
（喉頭形成）	喉頭形成手術（甲状軟骨固定用器具を用いたもの）
（顎移）	上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）
（歯顎移）	上顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）、下顎骨形成術（骨移動を伴う場合に限る。）（歯科）
（顎人工）	顎関節人工関節全置換術
（歯顎人工）	顎関節人工関節全置換術（歯科）
（内下）	内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術
（内甲悪）	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
（乳腺ガ）	乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（MRIによるもの）
（頭頸悪光）	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法
（歯頭頸悪光）	頭頸部悪性腫瘍光線力学療法（歯科）
（乳切性障）	乳房切除術（性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。）
（乳セ1）	乳癌センチネルリンパ節生検加算１及びセンチネルリンパ節生検（併用）
（乳セ2）	乳癌センチネルリンパ節生検加算２及びセンチネルリンパ節生検（単独）
（乳腫）	乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの（内視鏡下によるものを含む。））及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））
（ゲル乳再）	ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）（内視鏡下によるものを含む。）
（乳腺ラ）	乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
（胸腔拡胸支）	胸腔鏡下拡大胸腺摘出術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（胸腔縦悪支）	胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（胸腔縦支）	胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（気バ留）	気管支バルブ留置術
（胸腔肺支）	胸腔鏡下肺切除術（区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるものに限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（肺腫）	肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）
（胸腔肺悪）	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除、肺葉切除又は1肺葉を超えるもの及び気管支形成を伴う肺切除に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（胸腔形成）	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
（肺植）	同種死体肺移植術
（生肺）	生体部分肺移植術
（肺ラ）	肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
（胸腔食悪支）	胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（縦隔食悪支）	縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（内筋）	内視鏡下筋層切開術
（穿瘻閉）	食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、小腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、結腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、腎（腎盂）腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、尿管腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膀胱腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、膣腸瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）
（心腫内摘支）	心腫瘍摘出術（単独のもの（胸腔鏡下によるもの）に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）、心腔内粘液腫摘出術（単独のもの（胸腔鏡下によるもの）に限る。）（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（経特）	経皮的冠動脈形成術（特殊カテーテルによるもの）
（胸腔弁形）	胸腔鏡下弁形成術
（胸弁形内支）	胸腔鏡下弁形成術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
（胸腔下置）	胸腔鏡下弁置換術
（胸下置内支）	胸腔鏡下弁置換術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

略称	届出名称
(弁置再)	弁置換術(大動脈弁、僧帽弁及び中心線維体の再建を含むものに限る。)
(カ大弁置)	経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
(カ肺弁置)	経カテーテル弁置換術(経皮的肺動脈弁置換術)
(カ弁周欠閉)	経カテーテル弁周囲欠損孔閉鎖術
(経僧帽)	経皮的僧帽弁クリップ術
(経三尖)	経皮的三尖弁クリップ術
(脈動開)	胸腔鏡下動脈管開存閉鎖術
(胸下房)	胸腔鏡下心房中隔欠損閉鎖術
(不整胸腔)	不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
(不整経カ)	不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
(磁場心)	磁気ナビゲーション加算
(経中)	経皮的中隔心筋焼灼術
(ペ)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
(ペリ)	ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)
(両ペ心)	両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)
(両ペ静)	両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
(除心)	植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)
(除静)	植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの、皮下植込型リードを用いるもの又は胸骨下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術
(両除心)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)
(両除静)	両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
(大)	大動脈内バルーンパンピング法(IABP法)
(経循補)	経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
(補心)	補助人工心臓
(小補心)	小児補助人工心臓
(植補心非)	植込型補助人工心臓(非拍動流型)(設置する場合)
(心植)	同種心移植術
(心肺植)	同種心肺移植術
(筋シ心移)	骨格筋由来細胞シート心表面移植術
(腎神焼)	腎神経焼灼術
(経下肢動)	経皮的下肢動脈形成術
(内下不切)	内視鏡下下肢静脈瘤不全穿通枝切離術
(腹リ後腹)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)
(腹リ傍大)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)
(腹リ傍側)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)
(腹リ傍大支)	腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹小切)	腹腔鏡下小切開骨盤内リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜リンパ節群郭清術、腹腔鏡下小切開後腹膜腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開後腹膜悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開副腎摘出術、腹腔鏡下小切開腎部分切除術、腹腔鏡下小切開腎摘出術、腹腔鏡下小切開尿管腫瘍摘出術、腹腔鏡下小切開腎(尿管)悪性腫瘍手術、腹腔鏡下小切開膀胱腫瘍摘出術及び腹腔鏡下小切開前立腺悪性腫瘍手術
(腹鼠ヘ両支)	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術(両側)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹骨内全支)	腹腔鏡下骨盤内臓全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(骨盤ラ)	骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
(腹切多合)	腹膜切除を伴う多臓器合併切除術
(内胃切)	内視鏡的逆流防止粘膜切除術
(腹十二局)	腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
(腹胃切支)	腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
(腹側胃切支)	腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるも

略称	届出名称
(腹胃全)	腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))
(腹胃縮)	腹腔鏡下胃縮小術
(バ経静脈)	バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術
(腹総拡支)	腹腔鏡下総胆管拡張症手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹胆床)	腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
(胆腫)	胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
(胆)	体外衝撃波胆石破砕術
(腹肝)	腹腔鏡下肝切除術
(腹肝支)	腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹胆閉鎖)	腹腔鏡下胆道閉鎖症手術
(腹移肝)	移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
(生)	生体部分肝移植術
(肝植)	同種死体肝移植術
(膵石破)	体外衝撃波膵石破砕術
(腹膵腫瘍)	腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
(腹膵切)	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
(腹膵切支)	腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹膵中切)	腹腔鏡下膵中央切除術
(腹膵頭)	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術
(腹膵頭支)	腹腔鏡下膵頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(膵植)	同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
(膵島植)	同種死体膵島移植術
(生小腸植)	生体部分小腸移植術
(小腸移植)	同種死体小腸移植術
(早大腸)	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
(腹結悪支)	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹腎摘出支)	腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髄質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
(腹直腸切支)	腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
(副腎ラ)	副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
(腎)	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術
(腹腎尿支器)	腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
(腎悪ラ)	腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
(腹腎形支)	腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腎植)	同種死体腎移植術
(生腎)	生体腎移植術
(膀胱ハ間)	膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
(腹膀胱悪支)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹膀)	腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
(腹小膀悪)	腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術
(腹膀尿)	腹腔鏡下膀胱尿管逆流手術(膀胱外アプローチ)
(尿狭再)	尿道狭窄グラフト再建術
(人工尿)	人工尿道括約筋植込・置換術
(精温)	精巣温存手術
(精精採)	精巣内精子採取術
(焦超)	焦点式高エネルギー超音波療法
(腹前)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
(腹前支器)	腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
(女外セ)	女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算
(腹断端支)	腹腔鏡下腟断端挙上術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹仙骨固)	腹腔鏡下仙骨膣固定術
(腹仙骨固支)	腹腔鏡下仙骨膣固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹膣子内支)	腹腔鏡下腟式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(子悪セ)	子宮悪性腫瘍手術(子宮悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算1又は子宮悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算2を算定する場合に限る。)
(腹子悪内支)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

略称	届出名称
(腹子頸内支)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
(腹子)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)
(腹子頸)	腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)
(腹瘢修)	腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
(内胎)	内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
(胎羊)	胎児胸腔・羊水腔シャント術
(無心)	無心体双胎焼灼術
(胎輸臍穿)	胎児輸血術及び臍帯穿刺
(体膜肺)	体外式膜型人工肺管理料
(尿形性障)	尿道形成手術(前部尿道)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(尿裂性障)	尿道下裂形成手術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(陰形性障)	陰茎形成術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(陰全性障)	陰茎全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(精摘性障)	精巣摘出術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(会形性障)	会陰形成手術(筋層に及ばないもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(造腟閉性障)	造腟術、腟閉鎖症術(遊離植皮によるもの、腸管形成によるもの、筋皮弁移植によるもの)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(子宮全性障)	子宮全摘術(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(腹膣子性障)	腹腔鏡下腟式子宮全摘術(性同一性障害患者に対して行う場合に限る。)
(子宮附性障)	子宮附属器腫瘍摘出術(両側)(性同一性障害の患者に対して行う場合に限る。)
(医手頭セ)	医科点数表第2章第 10 部手術の通則の9に掲げる頭頸部悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
(医手休)	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1
(医手外)	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1
(医手深)	医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1
(歯手頭セ)	歯科点数表第2章第9部手術の通則第7号に掲げる頭頸部悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
(歯手休)	歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の休日加算1
(歯手外)	歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の時間外加算1
(歯手深)	歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の深夜加算1
(胃瘻造)	医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
(乳切遺伝)	医科点数表第2章第10 部手術の通則の19 に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
(子宮附遺伝)	医科点数表第2章第10 部手術の通則の19 に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)
(周栄管)	周術期栄養管理実施加算
(再単器)	再製造単回使用医療機器使用加算
(外医確)	外科医療確保特別加算
(輸血Ⅰ)	輸血管理料Ⅰ
(輸血Ⅱ)	輸血管理料Ⅱ
(輸適)	輸血適正使用加算
(貯輸)	貯血式自己血輸血管理体制加算
(コ体充)	コーディネート体制充実加算
(自生接)	自己生体組織接着剤作成術
(自己ク)	自己クリオプレシピテート作製術(用手法)
(同種ク)	同種クリオプレシピテート作製術
(造設前)	人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
(胃瘻造嚥)	胃瘻造設時嚥下機能評価加算
(凍保組)	凍結保存同種組織加算
(GTR)	歯周組織再生誘導手術
(手術歯根)	手術時歯根面レーザー応用加算
(人工歯根)	広範囲顎骨支持型装置埋入手術
(根切顕微)	歯根端切除手術の注3
(口血凝)	口腔粘膜血管腫凝固術
(手光機)	レーザー機器加算
(内手支機)	内視鏡手術用支援機器加算
(吸静深1)	吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静(声門上器具又は気管挿管による気道確保を伴わないもの)1

略称	届出名称
(吸静深2)	吸入麻酔又は静脈麻酔による深鎮静(声門上器具又は気管挿管による気道確保を伴わないもの)2
(麻管Ⅰ)	麻酔管理料(Ⅰ)
(麻管Ⅱ)	麻酔管理料(Ⅱ)
(周薬管)	周術期薬剤管理加算
(歯麻管)	歯科麻酔管理料
(歯麻酔Ⅱ)	歯科吸入麻酔又は歯科静脈麻酔(Ⅱ)
(放専)	放射線治療専任加算
(外放)	外来放射線治療加算
(遠隔放)	遠隔放射線治療計画加算
(高放)	高エネルギー放射線治療
(高放乳寡)	高エネルギー放射線治療の乳癌に対する全乳房照射の場合(寡分割照射に係るものに限る。)
(強放前寡)	強度変調放射線治療(IMRT)の前立腺癌に対する前立腺照射(寡分割照射に係るものに限る。)
(強度)	強度変調放射線治療(IMRT)
(画誘)	画像誘導放射線治療(IGRT)
(体対策)	体外照射呼吸性移動対策加算
(直放)	定位放射線治療
(定対策)	定位放射線治療呼吸性移動対策加算
(粒)	粒子線治療
(粒適)	粒子線治療適応判定加算
(粒医)	粒子線治療医学管理加算
(ホ中)	ホウ素中性子捕捉療法
(ホ中適)	ホウ素中性子捕捉療法適応判定加算
(ホ中医)	ホウ素中性子捕捉療法医学管理加算
(誘密)	画像誘導密封小線源治療加算
(連携診)	保険医療機関間の連携による病理診断
(連組織)	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製
(連細胞)	保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診
(デ病診)	デジタル病理画像による病理診断
(病理診1)	病理診断管理加算1
(病理診2)	病理診断管理加算2
(悪病組)	悪性腫瘍病理組織標本加算
(国病診)	国際標準病理診断管理加算
(口病診1)	口腔病理診断管理加算1
(口病診2)	口腔病理診断管理加算2
(補管)	クラウン・ブリッジ維持管理料
(矯診)	歯科矯正診断料
(顎診)	顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。)の手術前後における歯科矯正に係るもの)
(調基1)	調剤基本料1
(調基2)	調剤基本料2
(調基3イ)	調剤基本料3イ
(調基3ロ)	調剤基本料3ロ
(調基3ハ)	調剤基本料3ハ
(特調基A)	特別調剤基本料A
(調基特1)	調剤基本料1(注1のただし書に該当する場合)
(地支体1)	地域支援・医薬品供給対応体制加算1
(地支体2)	地域支援・医薬品供給対応体制加算2
(地支体3)	地域支援・医薬品供給対応体制加算3
(地支体4)	地域支援・医薬品供給対応体制加算4
(地支体5)	地域支援・医薬品供給対応体制加算5
(薬連強)	連携強化加算
(バ後体)	バイオ後続品調剤体制加算
(薬菌)	無菌製剤処理加算
(在薬総1)	在宅薬学総合体制加算1
(在薬総2)	在宅薬学総合体制加算2

略称	届出名称
（薬DX）	電子的調剤情報連携体制整備加算
（門減）	門前薬局等立地依存減算
（服管か薬）	服薬管理指導料の注1
（特薬管2）	特定薬剤管理指導加算2
（在医麻）	在宅患者医療用麻薬持続注射療法加算
（在中栄）	在宅中心静脈栄養法加算
（看処遇1～165）	看護職員処遇改善評価料（1～165）
（外在ベⅠ）	外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
（外在ベⅠ注）	外来・在宅ベースアップ評価料(I)の注5
（外在ベⅡ1～24）	外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）（1～24）
（外在ベⅡ1～24 注）	外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）の注5及び注6
（歯外在ベⅠ）	歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）
（歯外在ベⅠ注）	歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）の注5
（歯外在ベⅡ1～24）	歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）（1～24）
（歯外在ベⅡ1～24 注）	歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅱ）の注5及び注6
（入ベ1～500）	入院ベースアップ評価料（1～500）
（歯技ベ）	歯科技工所ベースアップ支援料
（調剤ベ）	調剤ベースアップ評価料

入院時食事療養

略称	届出名称
（食）	入院時食事療養(Ⅰ)・入院時生活療養(Ⅰ)

その他の届出

略称	届出名称
（酸単）	酸素の購入価格の届出
（175）	薬剤料に掲げる所定単位当たりの薬価が175円以下の場合は、薬剤名等の記載を省略する届出
（在薬）	在宅患者訪問薬剤管理指導料

先進医療

略称	届出名称
先003	高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術
先047	三次元形状解析による体表の形態的診断
先054	陽子線治療
先067	骨髄細胞移植による血管新生療法
先071	神経変性疾患の遺伝子診断
先074	重粒子線治療
先087	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査
先096	家族性アルツハイマー病の遺伝子診断
先098	腹腔鏡下膀胱尿管逆流防止術
先102	樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法
先105	泌尿生殖器腫瘍後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術
先115	末梢血単核球移植による血管再生治療
先121	自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法
先129	定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価
先133	歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法
先138	EBウイルス感染症迅速診断（リアルタイムPCR法）
先140	多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術
先142	フェニルケトン尿症の遺伝子診断
先143	培養細胞によるライソゾーム病の診断
先145	培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断
先147	角膜ジストロフィーの遺伝子解析
先177	パクリタキセル静脈内投与（一週間に一回投与するものに限る。）及びカルボプラチン腹腔内投与（三週間に一回投与するものに限る。）の併用療法　上皮性卵巣がん、卵管がん又は原発性腹膜がん
先－180	十二種類の腫瘍抗原ペプチドによるテーラーメイドのがんワクチン療法　ホルモン不応性再燃前立腺がん（ドセタキセルの投与が困難な者であって、HLA―A24が陽性であるものに係るものに限る。）
先－183	経胎盤的抗不整脈薬投与療法　胎児頻脈性不整脈（胎児の心拍数が毎分百八十以上で持続する心房粗動又は上室性頻拍に限る。）
先－189	重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病に対する脳死ドナー又は心停止ドナーからの膵島移植　重症低血糖発作を伴うインスリン依存性糖尿病
先－191	前眼部三次元画像解析
先－195	急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変（MRD）量の測定
先－196	最小侵襲椎体椎間板掻爬洗浄術
先－206	ペメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法　肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）
先－212	ゾレドロン酸誘導γδT細胞を用いた免疫療法　非小細胞肺がん（従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）
先－215	MEN1遺伝子診断
先－216	コレステロール塞栓症に対する血液浄化療法　コレステロール塞栓症
先－218	金属代替材料としてグラスファイバーで補強された高強度のコンポジットレジンを用いた三ユニットブリッジ治療
先－224	NKT細胞を用いた免疫療法　頭頸部扁平上皮がん（診断時のステージがIV期であって、初回治療として計画された一連の治療後の完全奏功の判定から八週間以内の症例（当該期間内に他の治療を実施していないものに限る。）に限る。）
先－226	C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法　C型肝炎ウイルスに起因する肝硬変（Child－Pugh分類による点数が七点以上のものであって、従来の治療法（肝移植術を除く。）ではその治療に係る効果が認められないものに限る。）
先－229	経皮的乳がんラジオ波焼灼療法　早期乳がん（長径が一・五センチメートル以下のものに限る。）
先－230	インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法　成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限

略称	届出名称
先－231	冠動脈又は末梢動脈に対するカテーテル治療におけるリーナルガードを用いた造影剤腎症の発症抑制療法　腎機能障害を有する冠動脈疾患（左室駆出率が三十パーセント以下のものを除く。）又は末梢動脈疾患
先－232	ウイルスに起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
先－233	細菌又は真菌に起因する難治性の眼感染疾患に対する迅速診断（PCR法）
先－234	内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術
先－236	トレミキシンを用いた吸着式血液浄化療法　特発性肺線維症（急性増悪の場合に限る）
先－237	腹腔鏡下センチネルリンパ節生検　早期胃がん
先－238	オクトレオチド皮下注射療法　先天性高インスリン血症（生後二週以上十二月未満の患者に係るものであって、ジアゾキサイドの経口投与では、その治療に係る効果が認められないものに限る。）
先－239	アルテプラーゼ静脈内投与による血栓溶解療法　急性脳梗塞（当該疾病の症状の発症時刻が明らかでない場合に限る。）
先－241	放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法　初発の中枢神経系原発悪性リンパ腫（病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が大脳、小脳又は脳幹であるものに限る。）
先－242	FDGを用いたポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影による不明熱の診断　不明熱（画像検査、血液検査及び尿検査により診断が困難なものに限る。）
先－243	FOLFOX6単独療法における血中５－FU濃度モニタリング情報を用いた５－FU投与量の決定
先－245	FDGを用いたポジトロン断層撮影によるアルツハイマー病の診断　アルツハイマー病
先－246	全身性エリテマトーデスに対する初回副腎皮質ホルモン治療におけるクロピドグレル硫酸塩、ピタバスタチンカルシウム及びトコフェロール酢酸エステル併用投与の大腿骨頭壊死発症抑制療法　全身性エリテマトーデス（初回の副腎皮質ホルモン治療を行っている者に係るものに限る。）
先－247	術前のTS－１内服投与、パクリタキセル静脈内及び腹腔内投与並びに術後のパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法　根治切除が可能な漿膜浸潤を伴う胃がん（洗浄細胞診により、がん細胞の存在が認められないものに限る。）
先－248	NKT細胞を用いた免疫療法　肺がん（小細胞肺がんを除き、ステージがⅡA期、ⅡB期又はⅢA期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）
先－249	ベペルミノゲンペルプラスミドによる血管新生療法　閉塞性動脈硬化症又はビュルガー病（血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。）
先－252	腹膜偽粘液腫に対する完全減量切除術における術中のマイトマイシンC腹腔内投与及び術後のフルオロウラシル腹腔内投与の併用療法　腹膜偽粘液腫（画像検査により肝転移及びリンパ節転移が認められないものであって、放射線治療を行っていないものに限る。）
先－253	腹腔鏡下広汎子宮全摘術
先－254	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による再発の診断　頭頸部腫瘍(原発性若しくは転移性脳腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。)又は上咽頭、頭蓋骨その他脳に近接する臓器に発生する腫瘍(放射線治療を実施した日から起算して半年以上経過した患者に係るものに限る。)であり、かつ、再発が疑われるものに限る。）
先－255	術前のS－１内服投与、シスプラチン静脈内投与及びトラスツズマブ静脈内投与の併用療法　切除が可能な高度リンパ節転移を伴う胃がん(HER2が陽性のものに限る。)
先－257	リツキシマブ点滴注射後におけるミコフェノール酸モフェチル経口投与による寛解維持療法　特発性ネフローゼ症候群（当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性頻回再発型又はステロイド依存性のものに限る。）
先－259	LDLアフェレシス療法
先－260	ステロイドパルス療法及びリツキシマブ静脈内投与の併用療法　特発性ネフローゼ症候群（当該疾病の症状が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、難治性ステロイド抵抗性のものに限る。）
先－262	多項目迅速ウイルスPCR法によるウイルス感染症の早期診断

略称	届出名称
先－263	周術期カルペリチド静脈内投与による再発抑制療法　非小細胞肺がん（CT撮影により非浸潤がんと診断されたものを除く。）
先－264	コラーゲン半月板補填材を用いた半月板修復療法　半月板損傷（関節鏡検査により半月板の欠損を有すると診断された患者に係るものに限る。）
先－265	CYP2D6遺伝子多型検査
先－266	LDLアフェレシス療法　閉塞性動脈硬化症（薬物療法に抵抗性を有するものであり、かつ、血行再建術及び血管内治療が困難なものであって、フォンタン分類ⅡB度以上のものに限る。）
先－267	自己心膜及び弁形成リングを用いた僧帽弁置換術　僧帽弁閉鎖不全症（感染性心内膜炎により僧帽弁両尖が破壊されているもの又は僧帽弁形成術を実施した日から起算して六ヶ月以上経過した患者（再手術の適応が認められる患者に限る。）に係るものに限る。）
先－268	骨髄由来間葉系細胞による顎骨再生療法　腫瘍、顎骨骨髄炎、外傷等の疾患による広範囲の顎骨又は歯槽骨欠損（上顎にあっては連続した三分の一顎程度以上の顎骨欠損又は上顎洞若しくは鼻腔への交通が認められる顎骨欠損に限り、下顎にあっては連続した三分の一顎程度以上の歯槽骨欠損又は下顎区域切除以上の顎骨欠損に限り、歯槽骨欠損にあっては歯周疾患及び加齢による骨吸収を除く。）
先－269	テモゾロミド用量強化療法　膠芽腫（初発時の初期治療後に再発又は増悪したものに限る。）
先－270	ハイパードライヒト乾燥羊膜を用いた外科的再建術　再発翼状片（増殖組織が角膜輪部を超えるものに限る。）
先－271	多血小板血漿を用いた難治性皮膚潰瘍の治療　褥瘡又は難治性皮膚潰瘍（美容等に係るものを除く。）
先－272	mFOLFOX6及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法　胃がん（腺がん及び腹膜播種であると確認されたものであって、抗悪性腫瘍剤の経口投与では治療が困難なものに限る。）
先－273	MRI撮影及び超音波検査融合画像に基づく前立腺針生検法
先－275	FOLFIRINOX療法　胆道がん（切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものに限る。）
先－276	内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下広汎子宮全摘術　子宮頸がん（FIGOによる臨床進行期分類がIB期以上及びIIB期以下の扁平上皮がん又はFIGOによる臨床進行期分類がIA2期以上及びIIB期以下の腺がんであって、リンパ節転移及び腹腔内臓器に転移していないものに限る。）
先－277	11C標識メチオニンを用いたポジトロン断層撮影による診断　初発の神経膠腫が疑われるもの（生検又は手術が予定されている患者に係るものに限る。）
先－278	自家嗅粘膜移植による脊髄再生治療　胸髄損傷（損傷後十二月以上経過してもなお下肢が完全な運動麻痺（米国脊髄損傷協会によるAISがAである患者に係るものに限る。）を呈するものに限る。）
先－279	陽子線治療　肝細胞がん（初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild—Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。）
先－280	重粒子線治療　肝細胞がん（初発のものであって、肝切除術、肝移植術、エタノールの局所注入、マイクロ波凝固法又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild—Pugh分類による点数が七点未満のものに限る。）
先－281	アキシチニブ単剤投与療法　胆道がん（切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、ゲムシタビンによる治療に対して抵抗性を有するものに限る。）
先－282	重粒子線治療　非小細胞肺がん（ステージがⅠ期であって、肺の末梢に位置するものであり、かつ肺切除術が困難なものに限る。）
先－284	ゲムシタビン静脈内投与及び重粒子線治療の併用療法　膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、TNM分類がT4のものに限る。）
先－285	ゲムシタビン静脈内投与、ナブ-パクリタキセル静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法　腹膜播種を伴う膵臓がん
先－286	治療抵抗性の子宮頸がんに対するシスプラチンによる閉鎖循環下骨盤内非均衡灌流療法　子宮頸がん（術後に再発したものであって、同時化学放射線療法に不応かつ手術が不能なものに限る。）
先－287	陽子線治療　肝内胆管がん（切除が不能と判断されたものであって、化学療法が奏効しないもの又は化学療法の実施が困難なものに限る。）

略称	届出名称
先－288	ヒドロキシクロロキン療法　関節リウマチ（既存の合成抗リウマチ薬による治療でDAS28が二・六未満を達成できないものに限る。）
先－289	水素ガス吸入療法　心停止後症候群（院外における心停止後に院外又は救急外来において自己心拍が再開し、かつ、心原性心停止が推定されるものに限る。）
先－290	ヒトIL－１１製剤を用いた心筋保護療法　ST上昇型急性心筋梗塞（再灌流療法を施行する場合に限る。）
先－291	重粒子線治療　前立腺がん（遠隔転移しておらず、D'Amico分類で高リスク群と診断されるものに限る。）
先－292	トラスツズマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法　乳房外パジェット病（HER2が陽性であって、切除が困難な進行性のものであり、かつ、術後に再発したもの又は転移性のものに限る。）
先－293	術後のカペシタビン内服投与及びオキサリプラチン静脈内投与の併用療法　小腸腺がん（ステージがⅠ期、II期又はIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）
先－294	Ｓ－１内服投与並びにパクリタキセル静脈内及び腹腔内投与の併用療法　膵臓がん（遠隔転移しておらず、かつ、腹膜転移を伴うものに限る。）
先－295	Ｓ－１内服投与、シスプラチン静脈内投与及びパクリタキセル腹腔内投与の併用療法　腹膜播種を伴う初発の胃がん
先－296	陽子線治療　根治切除が可能な肝細胞がん（初発のものであり、単独で発生したものであって、その長径が三センチメートルを超え、かつ、十二センチメートル未満のものに限る。）
先－297	腹腔鏡下傍大動脈リンパ節郭清術
先－298	陽子線治療　前立腺がん（遠隔転移しておらず、NCCN分類で中リスク群と診断されるものに限る。）
先－299	131I－MIBGを用いた内照射療法　神経芽腫（COGリスク分類又はINRG治療前分類で高リスク群と診断されるものであって、化学療法及び造血幹細胞移植が行われる予定のものに限る。）
先－300	シクロホスファミド静脈内投与及び自家末梢血幹細胞移植術の併用療法　全身性強皮症（ステロイド又は少なくとも一種類のステロイド以外の免疫抑制剤に抵抗性を有するもの限る。）
先－301	自家骨髄単核球移植による下肢血管再生治療　バージャー病（従来の治療法に抵抗性を有するものであって、フォンタン分類III度又はIV度のものに限る。）
先－302	ニボルマブ静脈内投与及びドセタキセル静脈内投与の併用療法　進行再発非小細胞肺がん（ステージがIIIB期、IIIC期若しくはIV期又は術後に再発したものであって、化学療法が行われたものに限る。）
先－303	糖鎖ナノテクノロジーを用いた高感度ウイルス検査
先－304	術後のアスピリン経口投与療法　下部直腸を除く大腸がん（ステージがIII期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）
先－305	TRPV2阻害薬経口投与療法　心不全（十三歳以上の患者に係るものであって、筋ジストロフィーによるものに限る。）
先－306	腹腔鏡下スリーブ状胃切除術及び十二指腸空腸バイパス術
先－307	血中TARC濃度の迅速測定
先－308	マルチプレックス遺伝子パネル検査　進行再発固形がん（切除が困難で進行性のもの又は術後に再発したものであって、原発部位が不明なもの又は治療法が存在しないもの、従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のもの
先－309	重粒子線治療　直腸がん（術後に再発したものであって、骨盤内に限局するものに限る。）
先－310	マルチプレックス遺伝子パネル検査　固形がん(根治切除が不可能又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。）
先－311	マルチプレックス遺伝子パネル検査　難治性固形がん(ステージがⅢ期若しくはⅣ期で手術が不能なもの又は治療後に再発したものであって、治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限り、肉腫を除く。）
先－312	Birt-Hogg-Dube(BHD)症候群の遺伝子診断

略称	届出名称
先－313	腎悪性腫瘍手術により摘出された腎臓を用いた腎移植　末期腎不全(慢性維持透析が困難なものに限る。)
先－314	切除支援のためのマイクロコイル併用気管支鏡下肺マッピング法　微小肺病変
先－315	反復経頭蓋磁気刺激療法　薬物療法に反応しない双極性障害の抑うつエピソード
先－316	自己軟骨細胞シートによる軟骨再生治療　変形性膝関節症(軟骨欠損を伴うものであって、高位脛骨骨切り術の適応となるものに限る。)
先－317	自家末梢血CD34陽性細胞移植による下肢血管再生療法　下肢閉塞性動脈硬化症(疼痛又は潰瘍を伴う重症虚血を呈するものであって、維持透析治療を行っているものに限る。)
先－318	不可逆電気穿孔法　肝細胞がん(肝内における長径三センチメートル以下の腫瘍が三個以下又は長径五センチメートル以下の腫瘍が一個であって、肝切除術又はラジオ波焼灼療法による治療が困難であり、かつChild-Pugh分類による点数が九点以下のものに限る。)
先－319	プローブ型共焦点レーザー顕微内視鏡による胃上皮性病変の診断　胃上皮性病変
先－320	ボツリヌス毒素の膀胱内局所注入療法　神経因性排尿筋過活動による膀胱機能障害(五歳以上十八歳未満の患者に係るものに限る。)
先－321	イマチニブ経口投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法　進行期悪性黒色腫(KIT遺伝子変異を有するものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。)
先－322	偽腔拡大に対する血管内治療　大動脈解離(術後に偽腔が拡大したものに限る。)
先－323	糞便微生物叢移植　再発性Clostridioides difficile関連下痢症・腸炎
先－324	周術期デュルバルマブ静脈内投与療法　肺尖部胸壁浸潤がん(化学放射線療法後のものであって、同側肺門リンパ節・縦隔リンパ節転移、同一肺葉内・同側の異なる肺葉内の肺内転移及び遠隔転移のないものに限る。)
先－325	マルチプレックス遺伝子パネル検査　進行性再発固形がん(非小細胞肺がん、乳がん、胃がん、大腸がん、膵がん又は胆道がんに限る。)
先－326	細胞診検体を用いた遺伝子検査
先－327	肺動脈自律神経叢除神経療法　肺高血圧症(薬物療法に抵抗性を有するものに限る。)
先－328	内視鏡的憩室隔壁切開術
先－329	内視鏡的胃局所切除術
先－330	腎血管筋脂肪腫に対する腎腫瘍凝固・焼灼術(冷凍凝固によるものに限る。)　腎血管筋脂肪腫(結節性硬化症によるものに限る。)
先－331	内視鏡的エタノール局所注入療法　膵神経内分泌腫瘍(長径が一・五センチメートル以下のものに限る。)
先－332	遺伝子組換え活性型血液凝固第Ⅶ因子製剤静脈内投与療法　脳出血(発症から二時間以内のものに限る。)
先－333	マルチプレックス遺伝子パネル検査　進行再発固形がん(治療法が存在しないもの又は従来の治療法が終了しているもの若しくは従来の治療法が終了予定のものに限る。)
先－334	抗腫瘍自己リンパ球移入療法　子宮頸がん(切除が不能と判断されたもの又は術後に再発したものであって、プラチナ製剤に抵抗性を有するものに限る。)
先－335	メトホルミン経口投与及びテモゾロミド経口投与の併用療法　膠芽腫(初発のものであって、テモゾロミド経口投与及び放射線治療の併用療法後のものに限る。)
先－336	シクロホスファミド静脈内投与療法　成人T細胞白血病(末梢血幹細胞の非血縁者間移植が行われたものに限る。)
先－337	流産検体を用いた染色体検査
先－338	人工内耳植込術　一側性感音難聴(高度又は重度のものに限る。)
先－339	腫瘍治療電場療法　膠芽腫(当該疾病が発症した時点における年齢が十八歳未満の患者に係るものであって、テント上に位置するものに限る。)
先－340	マルチプレックス遺伝子パネル検査　進行再発固形がん(食道がん、胃がん、大腸がん、膵がん、胆道がん、肺がん、乳がん、卵巣がん若しくは子宮がん又は悪性黒色腫であって、化学療法又は放射線治療を行っていないものに限る。)
先－341	自家骨髄単核球移植による血管再生治療　全身性強皮症(難治性皮膚潰瘍を伴うものに限る。)

略称	届出名称
先－342	シスプラチン静脈内投与及び強度変調陽子線治療の併用療法　頭頸部扁平上皮がん（喉頭がん、中咽頭がん又は下咽頭がんであって、ステージがⅡ期（p16陽性中咽頭がんに限る。）、Ⅲ期又はⅣ期のものに限る。）
先－343	テネクテプラーゼ静脈内投与療法　脳梗塞（発症から四・五時間以内のものに限
先－344	遺伝子パネル検査による遺伝性網膜ジストロフィーの遺伝子診断　遺伝性網膜ジストロフィー
先－345	アスピリン経口投与療法　家族性大腸腺腫症
先－346	子宮内膜刺激術
先－347	タイムラプス撮像法による受精卵・胚培養
先－348	子宮内膜擦過術
先－349	ヒアルロン酸を用いた生理学的精子選択術
先－350	子宮内膜受容能検査1
先－351	子宮内細菌叢検査1
先－352	強拡大顕微鏡を用いた形態学的精子選択術
先－353	自己骨髄由来培養間葉系細胞移植による完全自家血管新生療法　閉塞性動脈硬化症（血行再建術が困難なものであって、フォンタン分類Ⅲ度又はⅣ度のものに限る。）
先－354	ラメルテオン経口投与療法　悪性腫瘍（六十五歳以上の患者に係るものに限る。）
先－355	ベバシズマブ局所注入療法　重症未熟児網膜症
先－356	二段階胚移植術
先－357	反復経頭蓋磁気刺激療法　うつ病（急性期において当該療法が実施された患者に係るものであって、薬物療法に抵抗性を有するものに限る。）
先－358	セボフルラン吸入療法　急性呼吸窮迫症候群（従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）
先－359	子宮内細菌叢検査2
先－360	自家膵島移植術　慢性膵炎（疼痛を伴うものであって、従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）又は膵動静脈奇形（従来の治療法に抵抗性を有するものに限る。）
先－361	子宮内膜受容能検査2
先－362	タクロリムス投与療法　不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床又は妊娠に至っていない患者に係るものに限る。）
先－363	ネシツムマブ静脈内投与療法　切除が不可能なEGFR遺伝子増幅陽性固形がん（食道がん、胃がん、小腸がん、尿路上皮がん又は乳がんに限る。）
先－364	生体肝移植術 切除が不可能な肝門部胆管がん
先－365	術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ―パクリタキセル静脈内投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん（七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。）
先－366	流死産検体を用いた遺伝子検査1
先－367	自家濃縮骨髄液局所注入療法 特発性大腿骨頭壊死症（非圧潰病期に限る。）
先－368	アモキシシリン、ホスホマイシン及びメトロニダゾール経口投与並びに同種糞便微生物叢移植の併用療法 潰瘍性大腸炎（軽症から中等症までの左側大腸炎型又は全大腸炎型に限る。）
先－369	集束超音波治療器を用いた前立腺がん局所焼灼・凝固療法 前立腺がん（限局性のものに限る。）
先－370	膜構造を用いた生理学的精子選択術 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものに限る。）
先－371	着床前胚異数性検査 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床若しくは妊娠に至っていない患者若しくは流産若しくは死産の既往歴を有する患者に係るもの又は患者若しくはその配偶者（届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。）が染色体構造異常を持つことが確認されているものに限る。）
先－372	生体肝移植術 切除が不可能な転移性肝がん（大腸がんから転移したものであって、大腸切除後の患者に係るものに限る。）
先－373	血中循環腫瘍DNAを用いた微小残存病変量の測定 切除が可能な食道扁平上皮がん
先－374	子宮腺筋症病巣除去術 子宮腺筋症（閉経前、かつ、月経がある患者であって、妊孕性の温存を希望するものに係るものに限る。）

略称	届出名称
先－375	タミバロテン経口投与及びペムブロリズマブ静脈内投与の併用療法 切除が不可能な膵臓がん（二種類の従来の治療法に抵抗性を有するもの又は薬物療法が困難なものに限る。）
先－376	経皮的前立腺がんマイクロ波焼灼・凝固療法 前立腺がん（限局性のものに限る。）
先－377	アルゴンプラズマ高周波焼灼・凝固療法 切除が不可能な食道表在がん
先－378	脂肪組織由来の多系統前駆細胞を用いた歯周組織再生療法 重度歯周炎（従来の歯周組織再生法ではその治療に係る効果が認められないものに限る。）
先－379	自家骨髄単核球移植による血管再生治療 包括的高度慢性下肢虚血（閉塞性動脈硬化症を伴うものに限る。）
先－380	アナモレリン塩酸塩経口投与 体重減少（食道がんに対する食道亜全摘胃管再建術又は胃がんに対する噴門側胃切除術若しくは胃全摘術を実施したものに限る。）
先－381	腹腔鏡下卵巣悪性腫瘍手術 卵巣がん、卵管がん、腹膜がん又は境界悪性卵巣腫瘍（摘出が可能なものに限る。）
先－382	脊髄髄膜瘤手術 脊髄髄膜瘤（胎児期の患者に係るものに限る。）
先－383	着床前胚異数性検査２ 不妊症（卵管性不妊、男性不妊、機能性不妊又は一般不妊治療が無効であるものであって、これまで反復して着床若しくは妊娠に至っていない患者若しくは流産若しくは死産の既往歴を有する患者に係るもの又は患者若しくはその配偶者（届出をしていないが、事実上婚姻関係と同様の事情にある者を含む。）が染色体構造異常を持つことが確認されているものに限る。）
先－384	ギルテリチニブ経口投与療法 進行再発非小細胞肺がん（ロルラチニブ経口投与療法が不忍容であるもの又はロルラチニブ経口投与療法に抵抗性を有するものであって、ALK融合遺伝子陽性のものに限る。）
先－385	抗ネオセルフβ2グリコプロテインⅠ複合体抗体検査 不育症（流産（化学流産以外のものに限る。）の既往歴（二回以上のものに限る。）を有するものに限る。）
先－386	標準治療終了前におけるがんゲノムプロファイリング検査 進行再発固形がん（関連学会の化学療法に関するガイドライン等に基づき、全身状態及び臓器機能等から、当該検査実施後に化学療法の適応となる可能性が高いと主治医が判断した患者（標準治療が対象となる進行再発固形がん患者に限る。）であって、標準治療が終了する前の患者（局所進行又は転移が認められ標準治療が終了見込みとなる進行再発固形がん患者を除く。）に係るものに限る。）
先－387	血中循環腫瘍DNAを用いたマルチプレックス遺伝子パネル検査 進行又は再発大腸がん（切除不能なものに限る。）
先－388	術前・術後のイリノテカン静脈内投与、オキサリプラチン静脈内投与及びＳ－１内服投与の併用療法 切除が可能な膵臓がん
先－389	流死産検体を用いた遺伝子検査２ 自然流産（自然流産の既往歴を有するもの）又は死産
先－390	光線力学療法 転移性脳腫瘍（初発のもの又は治療後に再発したものに限る。）
先－391	多剤併用療法（レゴラフェニブ内服投与を含むものに限る。）並びにビノレルビン静脈内投与及びシクロホスファミド内服投与の併用療法による維持療法 ユーイング肉腫（転移性のものであり、かつ、初発のものに限る。）又は円形細胞肉腫（転移性のものであり、かつ、初発のものに限る。）
先－392	心臓移植レシピエント由来の凍結保存同種組織を用いた外科治療 感染性心臓疾患、大動脈基部置換術後の弁機能不全又は仮性動脈瘤に対する再手術、肺動脈閉鎖又は狭窄を有する先天性心疾患、自己肺動脈弁を用いた大動脈基部置換術、右室流出路再建術後の弁機能不全又は仮性動脈瘤に対する再手術
先－393	歯科用OCT画像診断装置を用いた不顕性齲蝕の検出率の向上及び管理療法 シェーグレン症候群